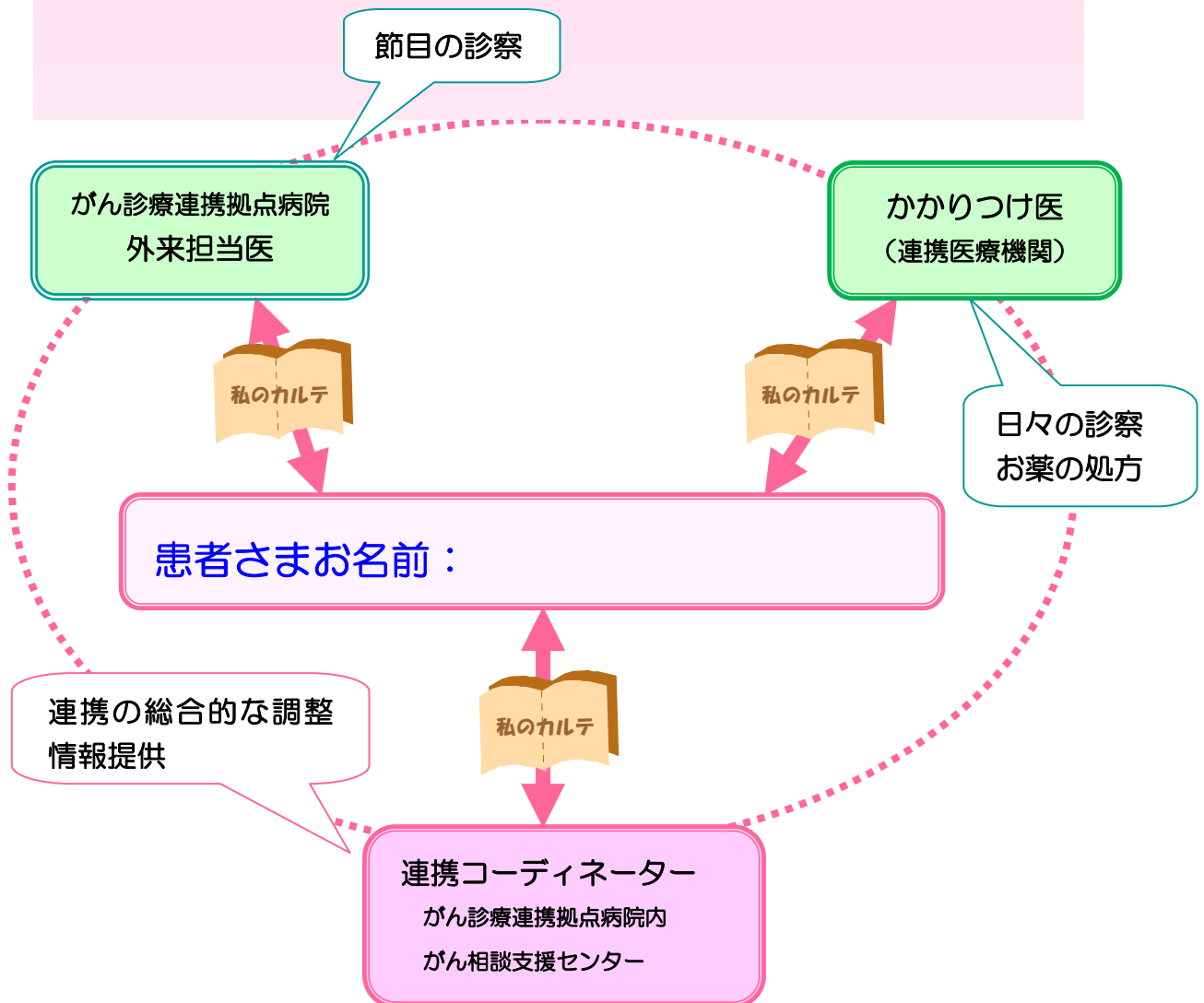


# 私のカルテ

SPR ver. 1.1 (2011)



## 「私のカルテ」について

「私のカルテ」とは、

ご自分の身体の状態を2人の医師に知らせるために活用する、患者さまご自身にお持ちいただくカルテです。

がん診療連携拠点病院および、かかりつけ医を受診するときに持参して下さい。

私のカルテには

1. 「私のカルテ」について
2. 決定した連携先医療機関とがん診療連携拠点病院の連絡先
3. 地域連携クリティカルパスのご説明
4. わたしの診療情報
5. 通信欄
6. 質問メモ用紙
7. 診療スケジュール表、自己チェックシート、共同診療計画表 など
8. おくすり手帳、薬説明の小冊子、薬剤情報提供書などが、綴じられています。

**【連携先医療機関（かかりつけ医）】**

病院名：

担当医師：

その他の担当者：

住所：

電話番号：

**【連携元病院（がん診療連携拠点病院）】**

病院名：

診療科と担当医師：

住 所：

電話番号：（病院代表）

：（夜間休日）

：（がん相談支援センター）

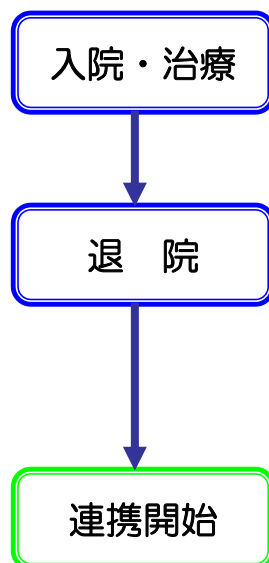
## 「地域連携クリティカルパスについて」

北海道内の「がん診療連携拠点病院」では、患者さまにわかりやすく安全で質の高い医療を目指して、地域の病院や診療所と協力して「地域連携クリティカルパス」を活用しています。

「地域連携クリティカルパス」（通称；連携パス）は、

- 患者さまに納得していただいたうえで
- 患者さまも含めて、医師・看護師・薬剤師等が共同で利用できる診療体制、スケジュールを記載した表です。
- 「連携パス」に基づいて主治医が複数になり、協力して診療を行います。

### 地域医療連携フローチャート



入院中に今後の医療連携についてご相談します

#### ●がん診療連携拠点病院の主治医：

地域連携クリティカルパスのシステムについてご説明し、連携先医療機関についてご相談させていただきます。

#### ●医療連携コーディネーター担当者：

患者様の状況やご希望、および連携先医療機関の意向を考慮したコーディネーターを行い、具体的な連携方法を決定します。

# わたしの診療情報 (担当医師が記入します)

生年月日： 大正・昭和 年 月 日  
身体情報：身長 cm、体重 kg、(連携パス開始時)

## 【手術情報】

手術日 : 平成 年 月 日  
手術時年齢 : 歳  
手術内容 : 右)  乳房切除 (全摘)  乳房温存手術 (部分切除)  
: 左)  乳房切除 (全摘)  乳房温存手術 (部分切除)  
リンパ節郭清 :  腋窩郭清  センチネルリンパ節生検のみ  なし

## 【病理所見】

組織型 \_\_\_\_\_ 腫瘍径 \_\_\_\_\_ cm  
リンパ節転移 ( / ) 組織グレード ( ) 脈管浸潤 ( )  
ER ( ) PgR ( ) HER2 ( ) Ki67 ( %)

## 【放射線治療】 ( あり・なし )

残存乳房 \_\_\_\_\_ Gy (平成 年 月 日 ~ 年 月 日)  
 \_\_\_\_\_ Gy (平成 年 月 日 ~ 年 月 日)

## 【薬物療法】

### 内分泌療法

アロマターゼ阻害剤 (アリミデックス / フェマラ / アロマシン )  
年 月 日開始 年 月 終了予定 (計 年間)  
 抗エストロゲン剤 ( ノルバデックス / フェアストン )  
年 月 日開始 年 月 終了予定 (計 年間)  
 LH-RH アゴニスト剤 ( ソラデックス / リュープリン )  
年 月 日開始 年 月 終了予定 (計 年間)

### 化学療法 (抗癌剤治療), 分子標的治療

点滴化学療法  
① ( ) x コース 平成 年 月 日終了  
② ( ) x コース 平成 年 月 日終了  
 ハーセプチン  
年 月 日開始 年 月 終了予定  
 内服抗癌薬など

## 【その他の診療情報】 (既往歴・併存疾患治療情報など)

















# 乳がん術後共同診療計画書 兼 医療者用チェックシート

【受診間隔のスケジュール】 ・がん拠点病院 ( 3 ・ 6 ・ 12 ヶ月毎)  
 ・かかりつけ医 ( 1 ・ 2 ・ 3 ヶ月毎)

術後 1 年目

手術日		年	月	日	術後1ヶ月	術後2ヶ月	術後3ヶ月	術後4ヶ月	術後5ヶ月	術後6ヶ月	術後7ヶ月	術後8ヶ月	術後9ヶ月	術後10ヶ月	術後11ヶ月	術後12ヶ月	
右・左 / 全摘・温存 / 郭清・SN					/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
全身状態	パフォーマンス・ステータスの悪化																
	食欲不振																
	体重 (kg)																
視触診	局所：腫瘍・硬結																
	腋窩：リンパ節腫大																
	鎖骨上窩：リンパ節腫大																
	患肢上肢：リンパ浮腫・炎症																
検査	対側乳房の視触診																
	血液検査																
	腫瘍マーカー (CEA, CA15-3など)																
	マンモグラフィ																
	胸部レントゲン写真																
	腹部超音波検査																
	CTスキャン																
薬物療法の管理	骨シンチグラム																
	その他 (MRI, PETなど)																
	服薬状況確認																
	内服薬 (ホルモン剤) の処方																
	併用薬チェック																
	抗エストロゲン剤	更年期症状の有無															
		帯下の変化															
		不正出血の有無															
		子宮癌検診 (年1~2回)															
	アロマターゼ阻害剤	関節痛の有無															
更年期症状の有無																	
骨密度測定 (年1回)																	
注射薬 実施	LH-RHアゴニスト																
	ハーセプチン (3週毎)																
説明支援	患者用パス				必要に応じて適宜説明												
	他臓器癌の検診について				必要に応じて												
	副作用対策				必要に応じて												
	服薬指導				必要に応じて												
生活支援				必要に応じて													

# 乳がん術後共同診療計画書 兼 医療者用チェックシート

【受診間隔のスケジュール】 ・がん拠点病院 ( 3 ・ 6 ・ 12 ヶ月毎)  
 ・かかりつけ医 ( 1 ・ 2 ・ 3 ヶ月毎)

術後 年目

手術日		年	月	日	術後1ヶ月	術後2ヶ月	術後3ヶ月	術後4ヶ月	術後5ヶ月	術後6ヶ月	術後7ヶ月	術後8ヶ月	術後9ヶ月	術後10ヶ月	術後11ヶ月	術後12ヶ月	
全身状態	パフォーマンス・ステータスの悪化																
	食欲不振																
	体重 (kg)																
視触診	局所：腫瘍・硬結																
	腋窩：リンパ節腫大																
	鎖骨上窩：リンパ節腫大																
	患肢上肢：リンパ浮腫・炎症																
	対側乳房の視触診																
検査	血液検査																
	腫瘍マーカー (CEA, CA15-3など)																
	マンモグラフィ																
	胸部レントゲン写真																
	腹部超音波検査																
	CTスキャン																
	骨シンチグラム																
その他 (MRI, PETなど)																	
薬物療法の管理	服薬状況確認																
	内服薬 (ホルモン剤) の処方																
	併用薬チェック																
	抗エストロゲン剤	更年期症状の有無															
		帯下の変化															
		不正出血の有無															
		子宮癌検診 (年1~2回)															
	アロマターゼ阻害剤	関節痛の有無															
		更年期症状の有無															
		骨密度測定 (年1回)															
注射薬 実施	LH-RHアゴニスト																
	ハーセプチン (3週毎)																
説明支援	患者用パス				必要に応じて適宜説明												
	他臓器癌の検診について				必要に応じて												
	副作用対策				必要に応じて												
	服薬指導				必要に応じて												
	生活支援				必要に応じて												

※ 担当が認められた場合には情報交換 主治医が拠点病院にて対応